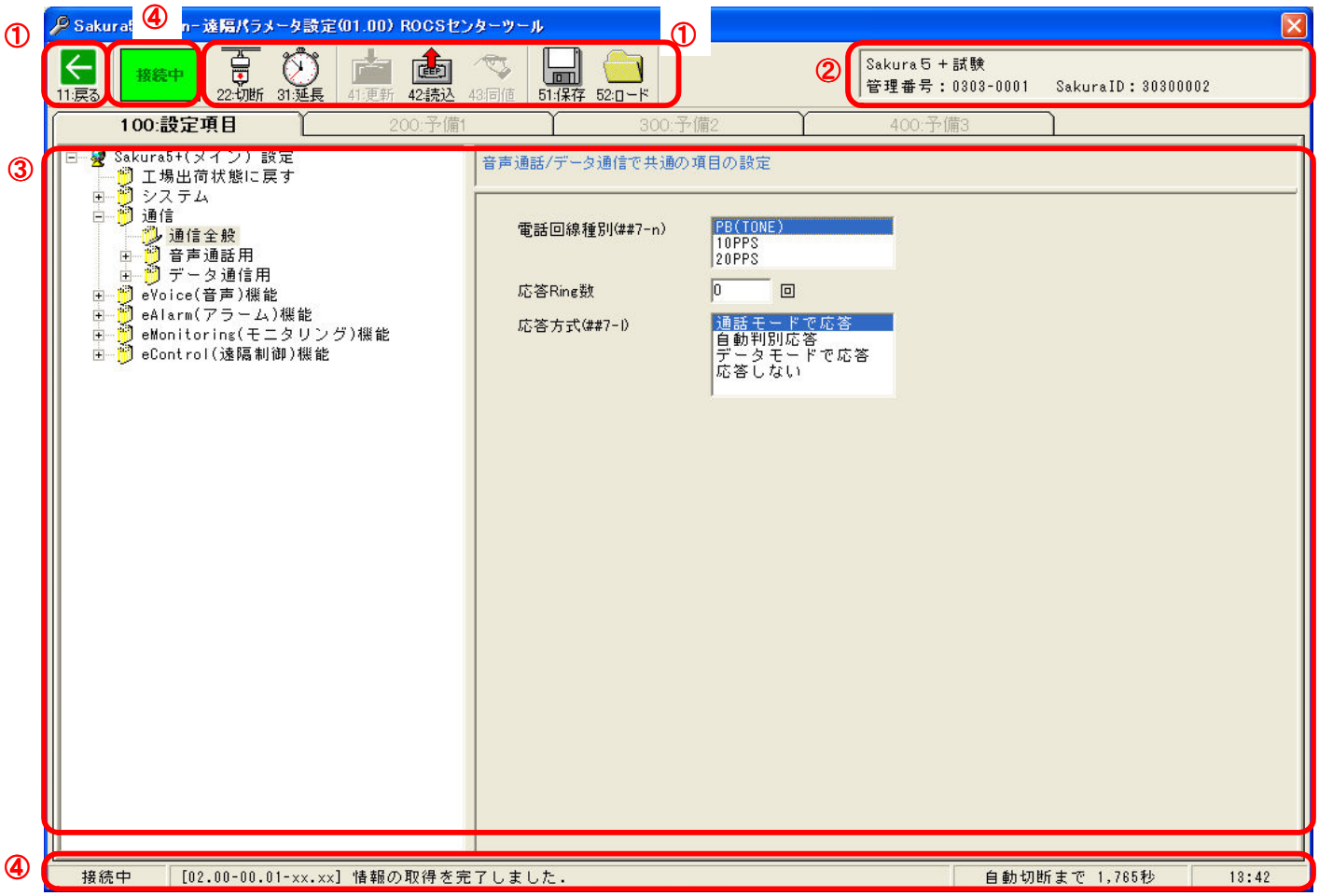
１．画面の構成

２．共通部
　２．１ 操作ボタン群
　２．２ プログラム状態表示域

３．タブ毎の構成
　３．１ 設定項目

４．補足説明
　４．１ 使用権限

1. 画面の構成



①操作ボタン群
　リアルタイムモニタ機能を制御する一連のボタン群です.
　詳細は「2. 1 操作ボタン群」を参照して下さい.

②現場簡易情報の表示域
　対象の現場名, 管理番号とSakuraIDを表示します.

③タブ毎の表示域
　表示内容は選択しているタブ毎に異なります.
　詳細は「3 タブ毎の内容」を参照して下さい.

④プログラム状態表示域
　現在のプログラムの状態を表示します.
　詳細は「2. 2 プログラム状態表示域」を参照して下さい.

2. 共通部
2. 1 操作ボタン群

1）全般

a.「11:戻る」ボタン

リアルタイムモニタ画面を閉じて，ROCSセンターツール画面に戻ります．
回線接続中の場合は，回線の切断処理を行います．

2）回線制御

a.「21:接続」ボタン

端末に対して接続処理を開始します．
接続処理が完了した時点でボタンのアイコンと名称が「22:切断」に変わります．

b.「22:切断」ボタン

回線切断処理を開始します．
切断処理が完了した時点でボタンのアイコンと名称が「21:接続」に変わります．

c.「31:延長」ボタン

自動回線切断までの時間を延長します．

3）編集用

a.「41:更新」ボタン

現在の値を端末のパラメータ域(EEPROM)に設定します．

b.「42:読込」ボタン

端末のパラメータ域(EEPROM)の内容を読込んで表示します．

c.「43:同値」ボタン

２番目以降の項目の内容に先頭項目と同じ内容を設定します．

4）状態履歴の再生制御

a.「51:保存」ボタン

端末の内容を指定ファイルに保存します.

b.「52:ロード」ボタン

指定ファイルに保存されている内容を端末に復元します.

2．2 プログラム状態表示域

1）回線状態/通信状態表示 域

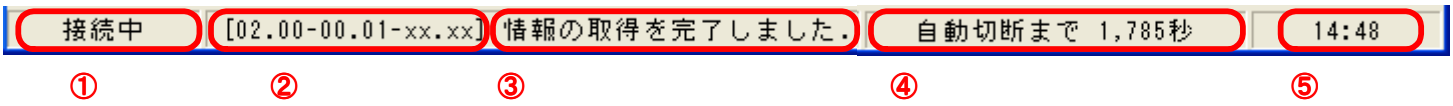
端末に未接続です．「21:接続」ボタンで接続を開始します．

端末に接続済みで，通信を行っていません．「22:切断」ボタンで回線を切断します．

端末に接続済みで，通信中です．「22:切断」ボタンで回線を切断します．
通信中は交互に点滅を繰り返します．

自動切断時刻までの残り時間が一定時間以下になった場合の警告です．
交互に点滅を繰り返します．

2）ステータス行



① 回線状態/通信状態を表示します．
　　未接続 ； 接続中 ； 通信中

② 定義ファイルの版数を表示します．
　[FF.FF-DD.DD-xx.xx]
　　FF.FF　　フォーマット版数　　（例では Ver2.00）
　　DD.DD　　定義版数　　（例では Ver0.01）
　　xx.xx　　SDEBUG版数　　（常に xx.xx）

③ メッセージを表示します．

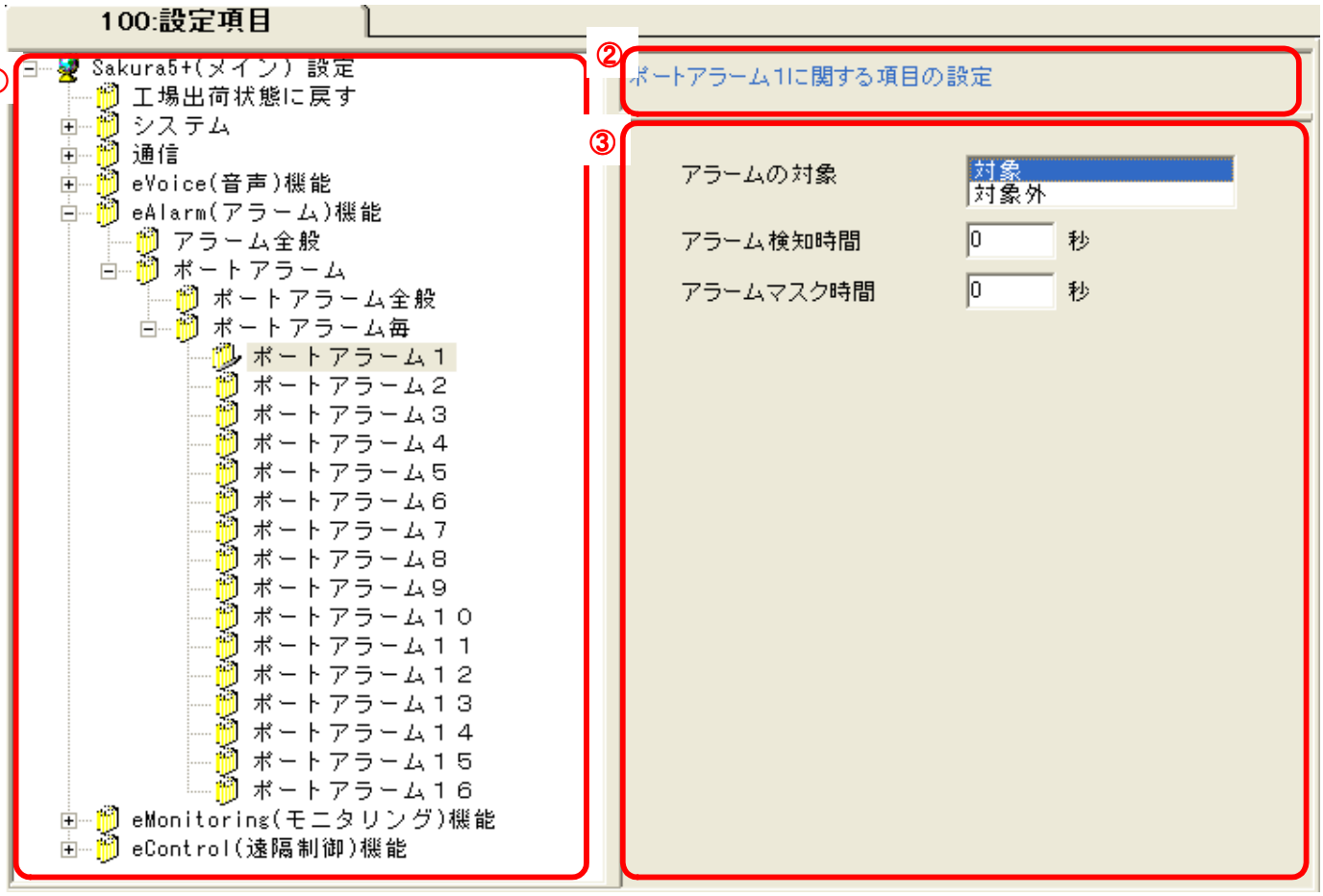
④ 接続/通信中の自動切断までの残り時間を表示します．

⑤ パソコン上の時刻を表示します．

3. タブ毎の構成

3. 1 設定項目

1）全体の構成



① グループ項目

② 選択されているグループ項目の説明を表示します.

③ グループ項目の内容を表示します.

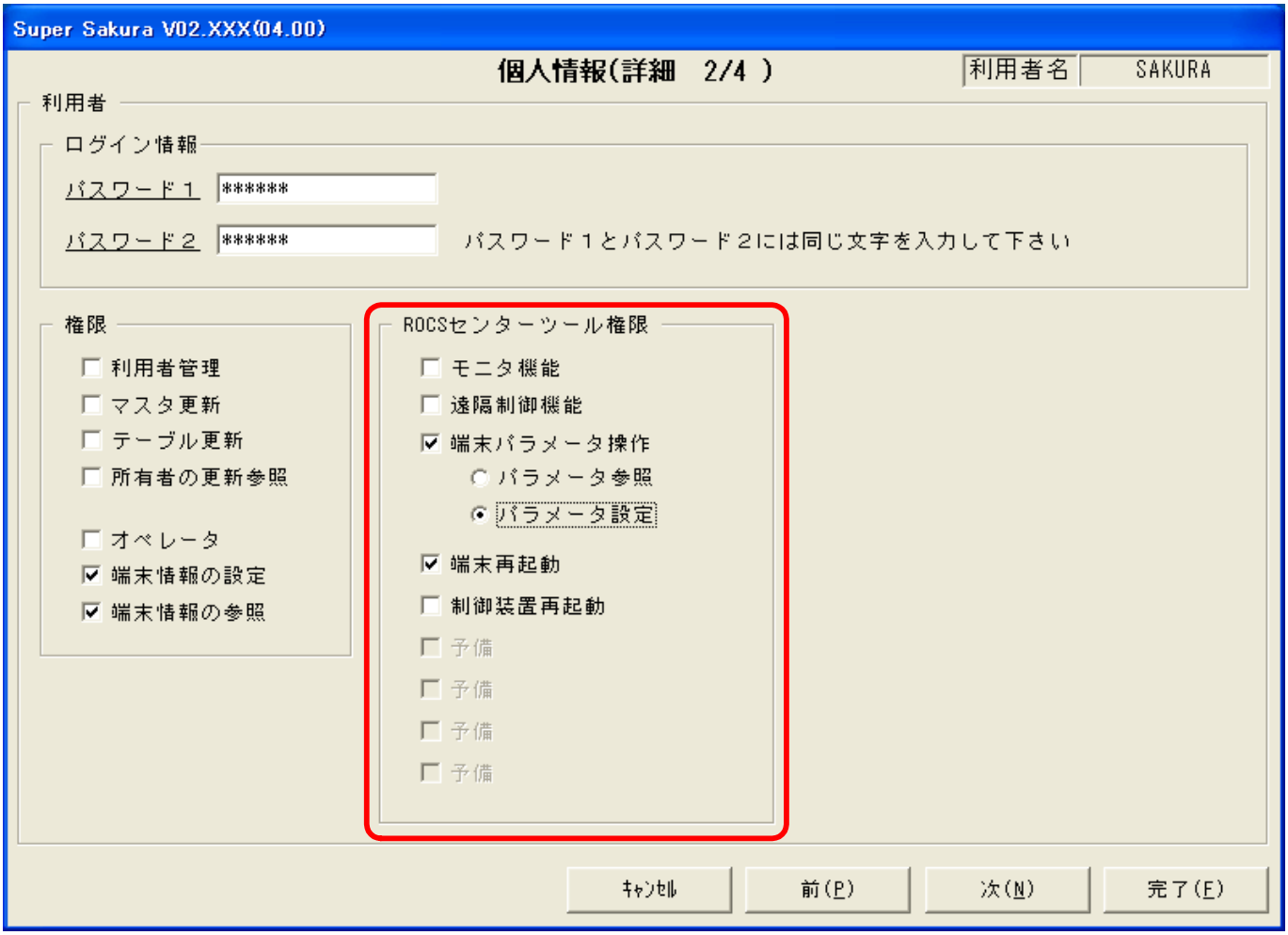
4 補足説明

4．1 使用権限

リアルタイムモニタ機能を使用する為には，個人情報のROCSセンターツール権限を設定する必要があります．

業務コンソールメニューで「システム」→「個人情報」を選択する．

該当，利用を選択後「修正」ボタンをクリックして2ページ目



端末パラメータ操作

本項目がチェックマークされていない場合は，遠隔パラメータ設定機能を実行することが出来ません．

・パラメータ参照　参照のみ可能

・パラメータ設定　参照と設定が可能

端末再起動

パラメータ設定がONの場合は，自動的にチェックマークされます．

その他

遠隔パラメータ設定では，使用しない権限です．